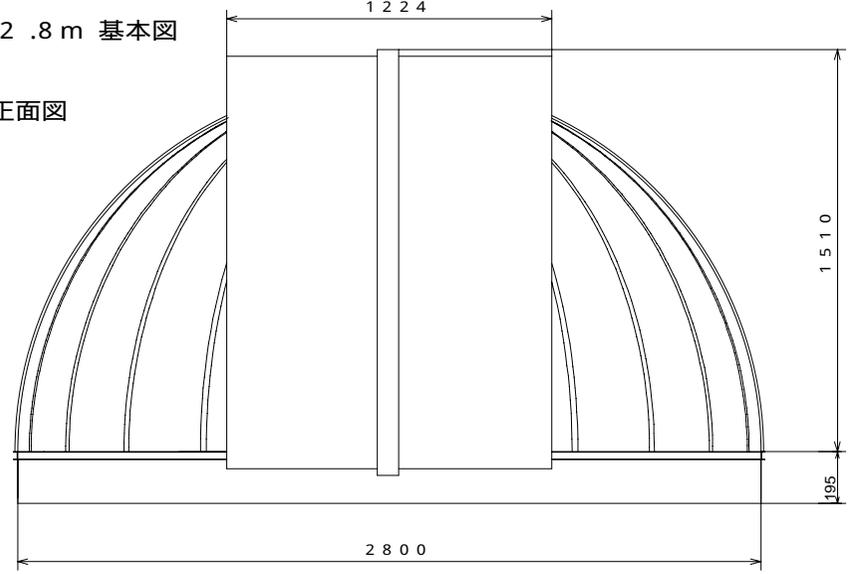
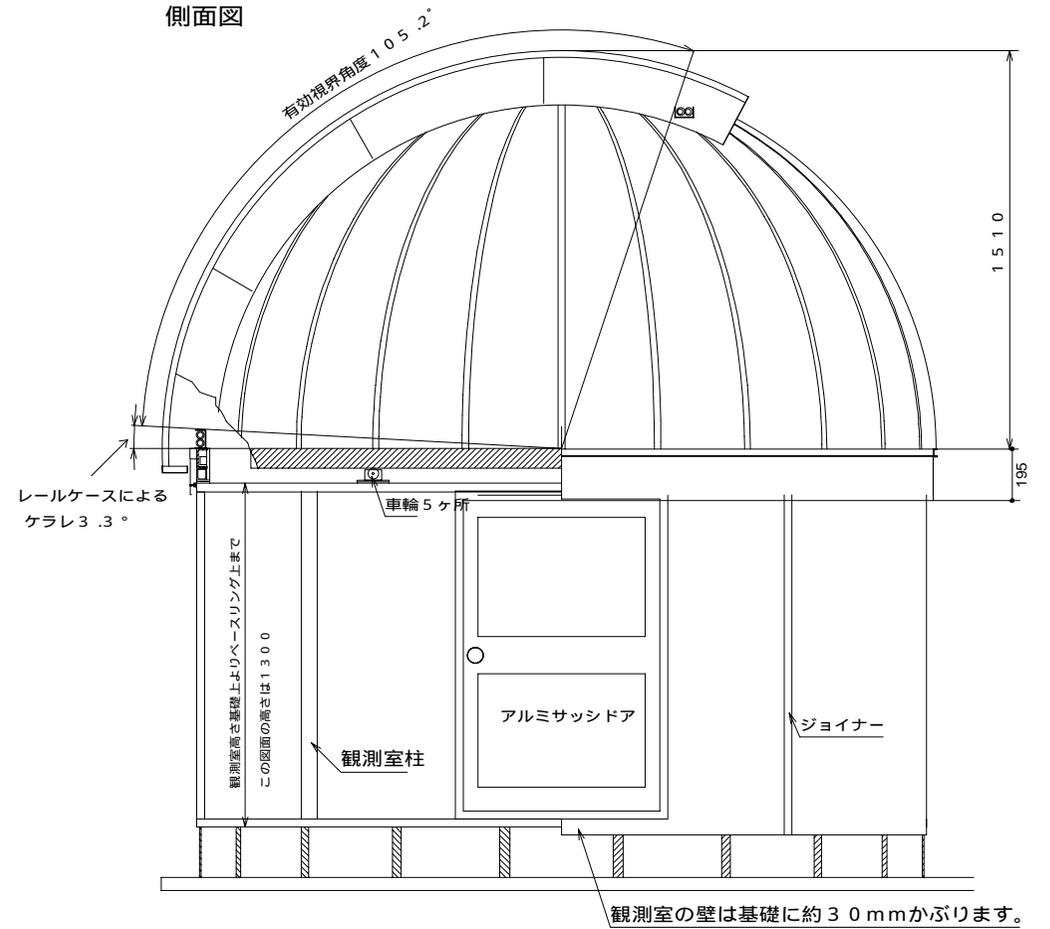


2.8 m 基本図

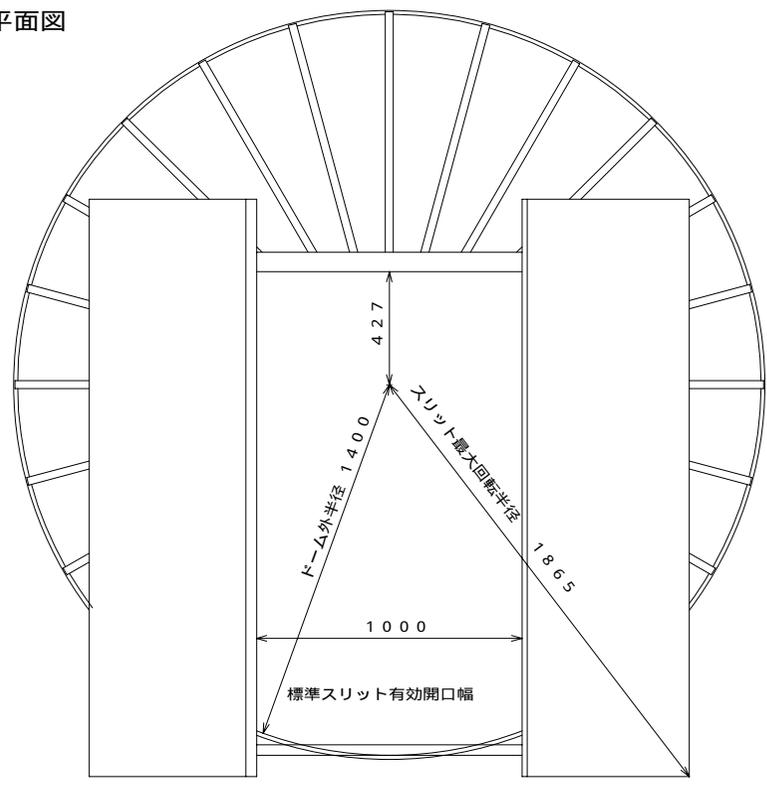
正面図



側面図

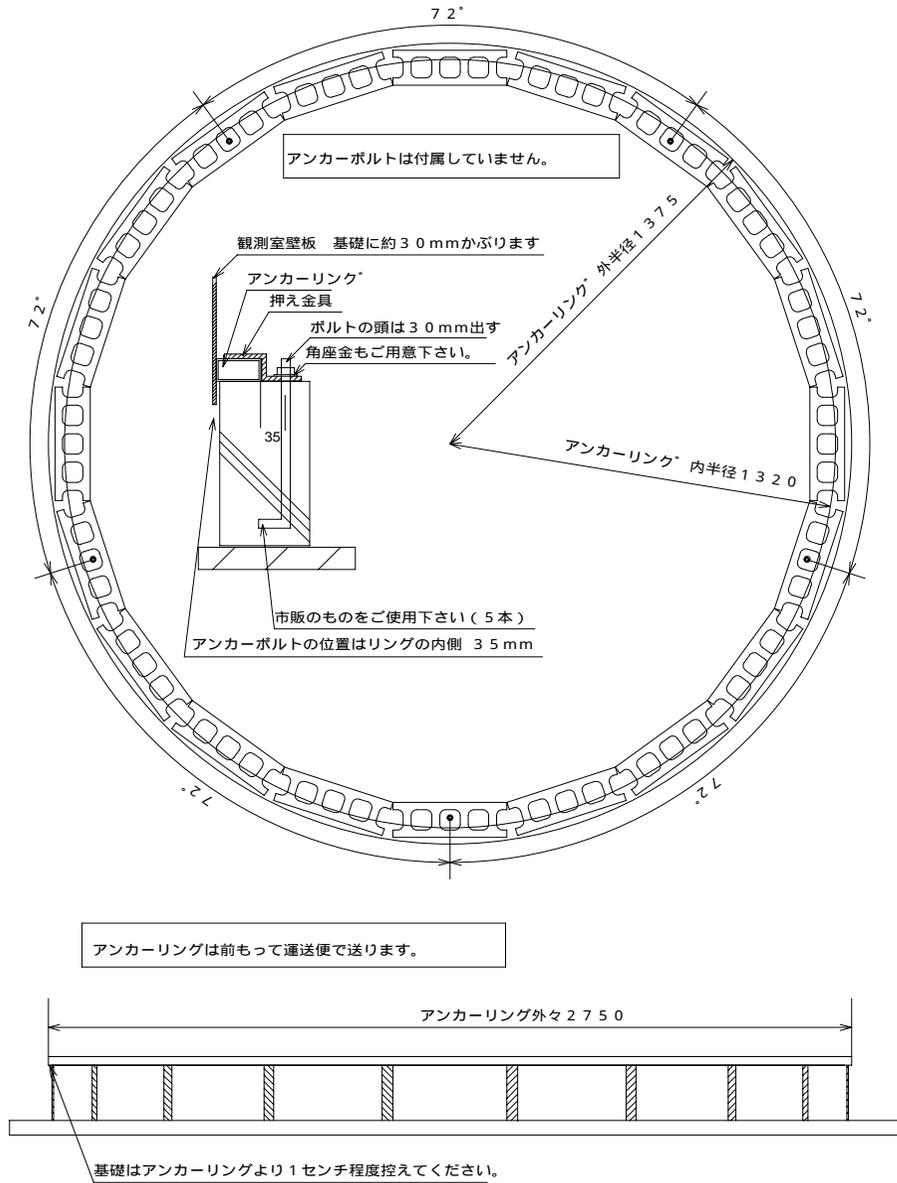


平面図

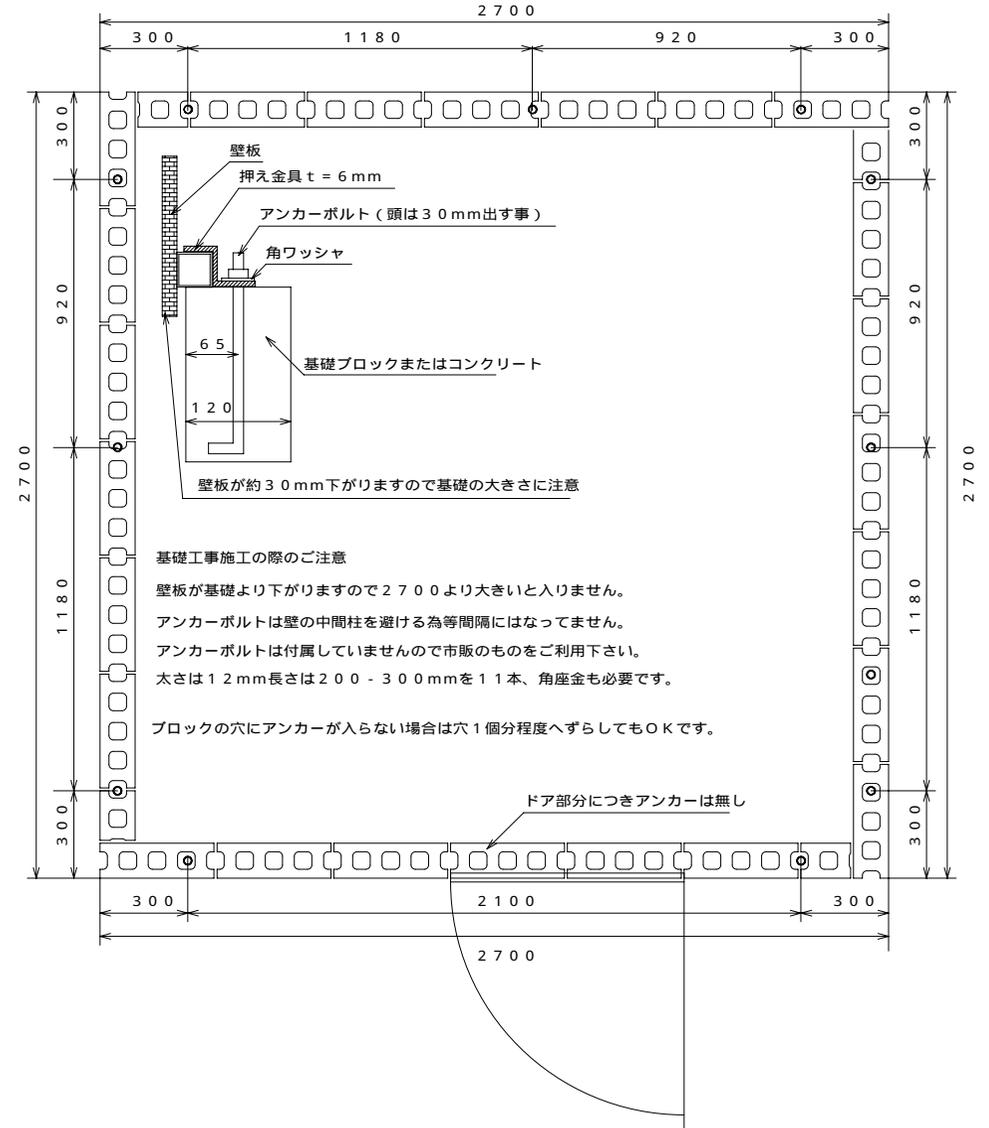


	ドーム仕様		観測室仕様
骨組み	軽量鉄骨製	骨組み	軽量鉄骨製
外装	18-8 (SUS304) ステンレス塗装仕上げ	丸型外装	カラー鉄板 0.8ミリ使用、ジョイナー7M3 ³ 、F B
骨組み塗装	鋼管は亜鉛メッキ仕上 その他の部分は常温亜鉛メッキ塗料ローバル使用	角型外装	サイジング 芯材 硬質発泡ウレタン 15ミリ
回転車輪	M C ナイロン製 60 5個	骨組み塗装	ドームに同じ
強風時固定金具	5個所	観測室重量	100kg
付属品	スリットワンタッチロック、ドーム固定ドライバー		
ドーム重量	277kg		
回転用モーター	オプション 100V-40W-1A		
開閉用モーター	オプション 100V-40W-1A		

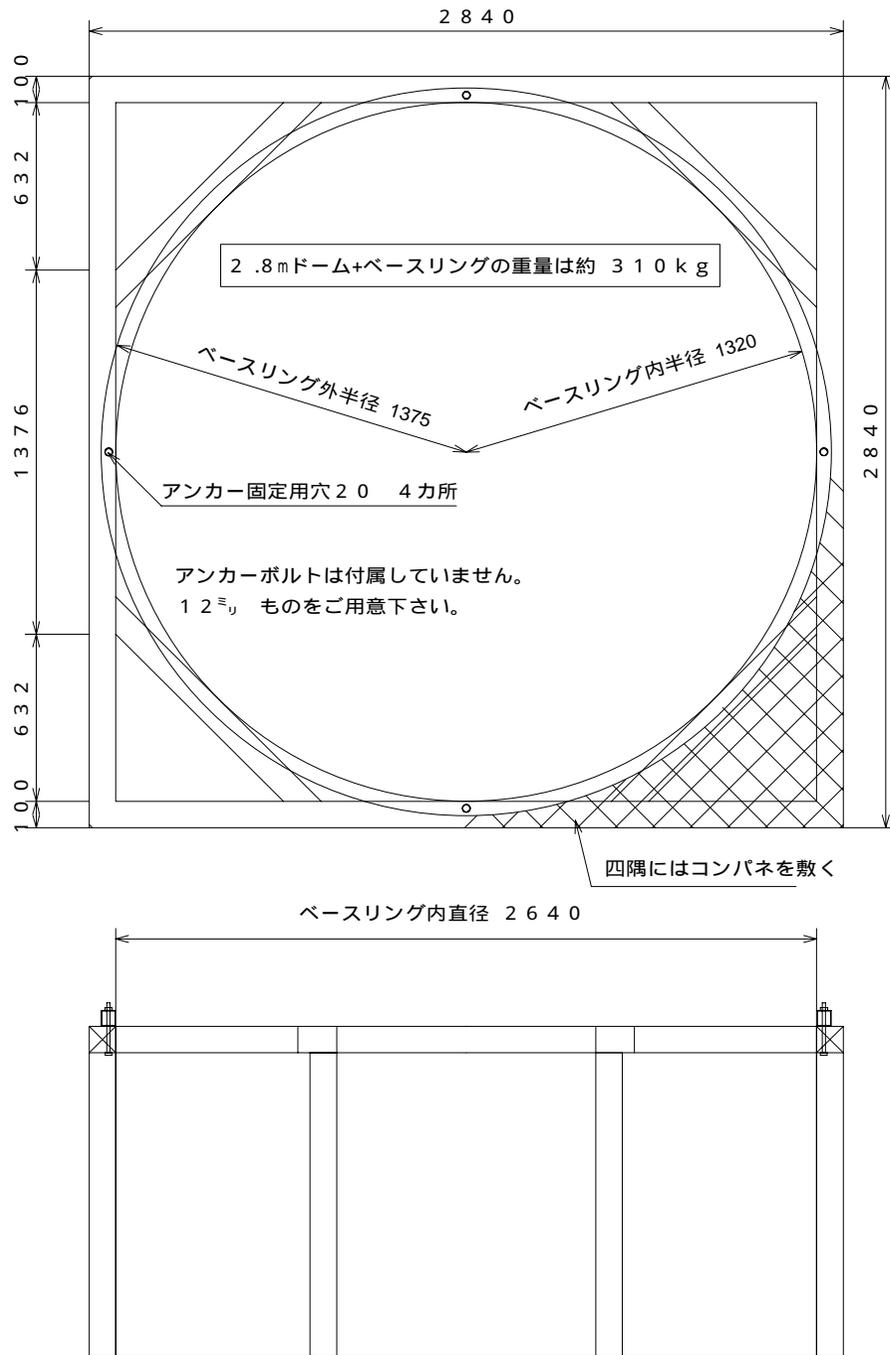
2 .8 mドーム丸型観測室基礎参考図面



2 .8 mドーム角型観測室基礎参考図面

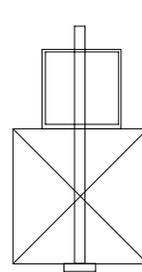


2.8m 木造建物取り付け参考図

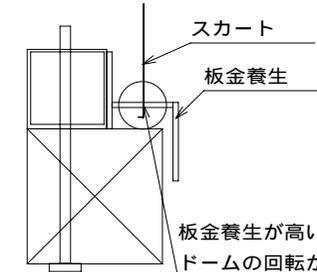


木造観測室製作上の注意点

- 1 まずこちらよりベースリング[※]外直径(2,750で3分割)を現場へ送ります。
- 2 ベースリングにはアンカーボルト用の穴が4箇所あいています。
- 3 ドームとの取り付けの注意点は断面図A-Aのスカートと板金養生の隙間です。図b
- 4 スカートと板金の隙間は15mm程度で板金緊ぎ目を立ちあげたりするとスカートが擦ります。
- 5 アンカーボルトは内部を最大限活用するため材木の芯を内側にずらしてありますが材木の芯に持ってきて差し支えありません。(内部は少し狭くなります) 図a



図a



図b

